

令和4年12月22日 教育委員会会議録

- 1 日 時 令和4年12月22日(木) 午後3時00分～午後3時10分
- 2 場 所 7階 701AB会議室
- 3 出席委員 白鳥樹一郎委員、中村篤委員、熊坂香織委員、細谷真紀子委員
- 4 欠席委員 金沢智也教育長
- 5 出席者 高橋一実教育部長、板垣裕子次長(兼)管理課長、
山川高士管理課学校施設整備室長、細谷直樹次長(兼)学校教育課長、
後藤好邦社会教育青少年課長、小関仁美少年自然の家所長、佐藤誠図書館長、
長橋真学校給食センター所長、佐々木信江学校給食センター栄養管理室長、
志済直史商業高等学校事務長、事務局(管理課職員)

会議次第

- 1 開 会
- 2 前回会議録承認
- 3 議 案
議案第38号 教育財産(建物)の用途廃止について(山形市立南沼原小学校校舎等)
- 4 そ の 他
- 5 日 程 等
(1) 教育委員の日程について
(2) 教育委員会主催(共催)の行事予定について
- 6 閉 会

会議録

- 1 開 会 白鳥職務代理人
- 2 前回会議録承認
- 3 議 案

白鳥職務代理人…それでは、議案第38号教育財産（建物）の用途廃止について（山形市立南沼原小学校校舎等）説明をお願いします。

<学校施設整備室長より教育財産（建物）の用途廃止について（山形市立南沼原小学校校舎等）説明>

白鳥職務代理人…ただ今の説明について、意見や質問等はあるか。

<各委員より「なし」の声>

白鳥職務代理人…それでは、議案第38号について、原案のとおり承認してよろしいか。

<各委員より「はい」の声>

<原案のとおり承認>

4 その他

白鳥職務代理人…委員よりその他意見や質問等はないか。

学校教育課長…事前に委員より質問があった。通常学級に在籍している発達障害の可能性があつて特別な支援が必要な児童生徒について返答したい。今年12月13日に「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」では、通常学級に8.8%、11人に1人程度推計されるということが文部科学省の調査から分かったという発表があった。10年前から増加し、支援の充実が課題となっている。山形市でも、増加傾向にあると捉えている。具体的には、通常学級に在籍していて専門機関に相談している児童生徒、相談はしていないが学校個別の支援計画を作成している児童生徒、そして校内の支援委員会等で相談している児童生徒、この児童生徒たちは小中あわせて約9.9%となっている。これに担任から見えて気になる児童生徒を足すと14.6%となる。こういった児童生徒に対しては個別の指導計画を用意し個々に対応している。しかし、増加傾向にあり年々増えてきているため「マンパワーがあれば」という声

が学校から常にあがっているのが現状だ。こういった児童生徒が増加してきたということもあり、文部科学省では「LD・ADHD通級指導教室」を設置している。山形市は、小学校5校、中学校3校に設置しており、それぞれ小学生62名、中学生15名が通級している。言語通級指導教室は、市内他校から通っての指導も行っているが、LD・ADHD通級指導教室は自校の生徒のみの対応となっている。

委員…通級教室とは、言語通級の3校を除いての5校か。

学校教育課長…委員ご指摘の通りだ。

白鳥職務代理者…その他意見や質問等はあるか。

<各委員より「なし」の声>

白鳥職務代理者…事務局よりその他報告等はないか。

<事務局より「なし」の声>

5 日程等

<管理課長より教育長及び教育委員の日程及び教育委員会主催の行事等について説明>

6 閉会 白鳥職務代理者